



BCP（事業継続プラン）コンサルティングご紹介

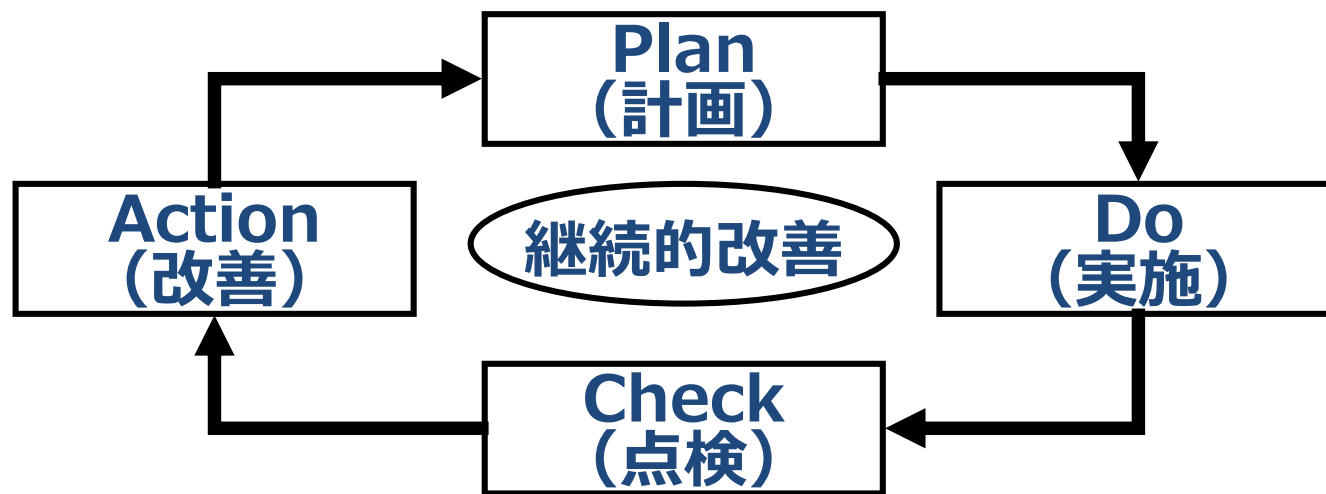
株式会社エスケイワード
コンサルティング事業部

POINT 1

BCP事業継続計画とは

PDCA（計画・実施・検証・見直し）サイクルを回すことで、実効性の高いBCPとなる。

BCPは継続して実施する事が重要となります。



POINT 2

BCP で何の対策が必要か？

今 最初に実施すべき事は、

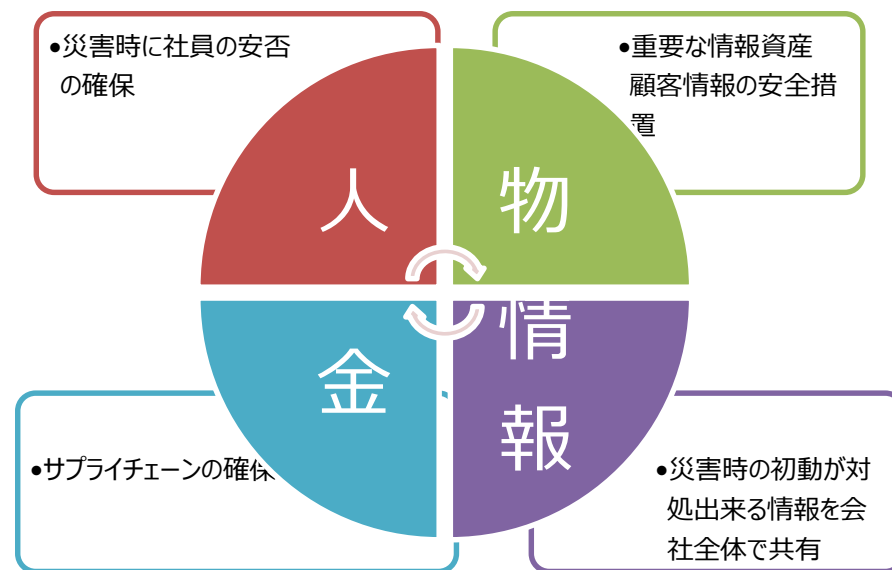
(人)・(物)・(情報)・(金)
をベースに考慮することが重要となります。

事業継続は、災害対策や、地震対策ではありません。

それだけならば、結果的には損害を最小限に出来ても、結局は企業は行き残り続けられるでしょうか？

平時でも、BCP事業継続計画は、重要なビジネスを中断しないようにする為に取り組むべきものであります。

BCPでの、ビジネスリスク分析に取り組みが出来れば、経営に必ず役に立ちます。



CASE
1

重要な情報資産のデータが社内のファイルサーバーにしか保存していない。

地震等の災害発生時にリカバリーディザスターという概念があります。例えば名古屋に会社があり、中部圏で大規模な地震が発生した場合、社内のファイルサーバーが倒壊して修復が出来ない場合、重要な情報資産が紛失してしまう可能性があります。名古屋に本社がある場合はバックアップ先は遠方（200km 以上先）にデータが保管しておけば、重要な情報資産のデータの紛失リスクは軽減できます。

CASE
2

紛失してしまうと、事業継続ができない重要な情報資産のデータがある。

データをすべてバックアップ取るのは大変なことです、中でも特に重要な情報資産データ（社員情報、顧客台帳、派遣先台帳、設計図、現在進行中の仕掛データ等）に関しては、対応先を取った方がリスクは低減します。

CASE
3

一時的でも社内システムがダウンした際にすぐ使用したいデータがある

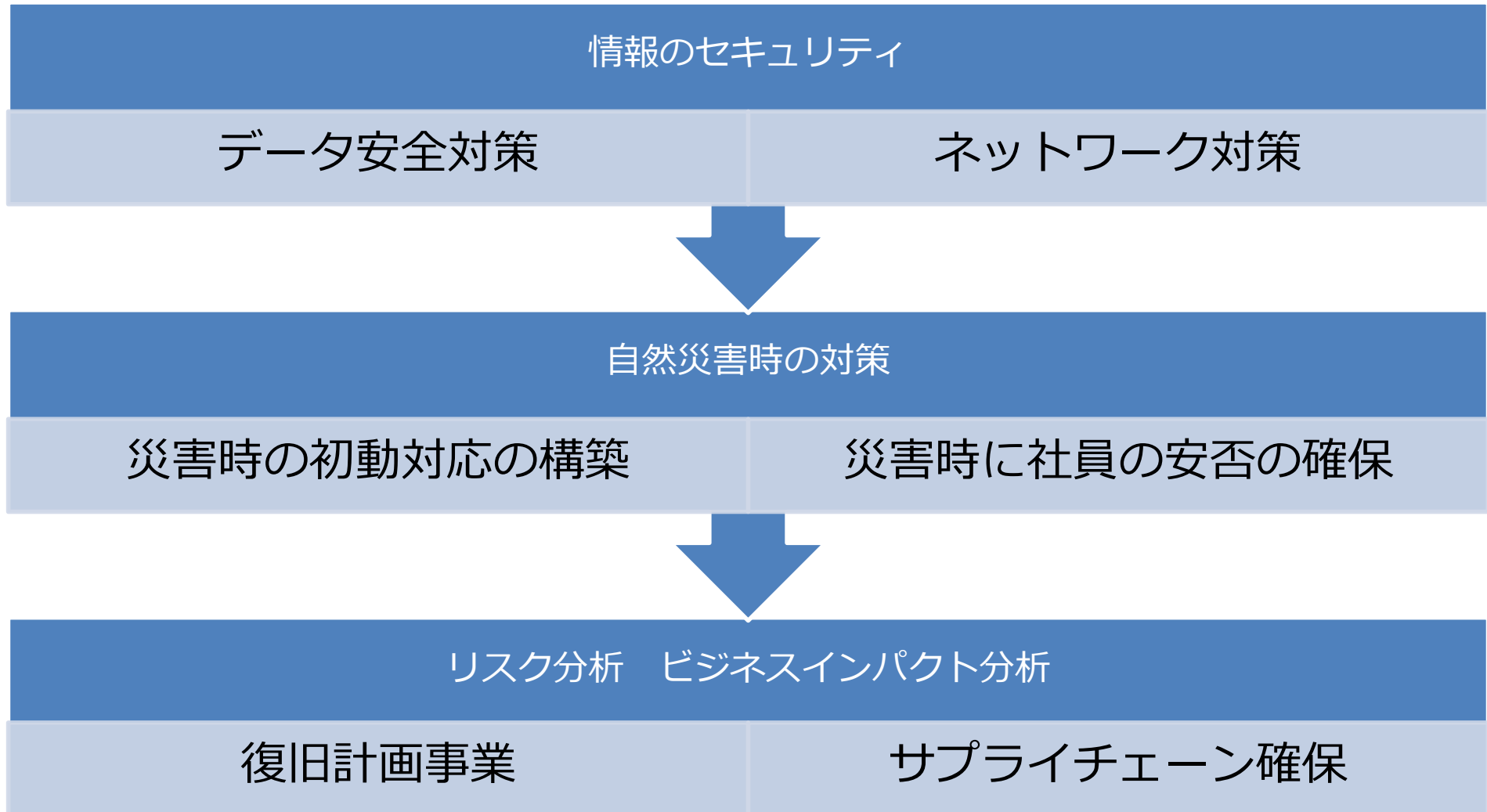
緊急時に、社内システムダウンしてしまった。復旧までに2～3日かかるという場合、社外のシステムからデータを取り出したり、閲覧できる仕組みがあれば、業務は停滞するリスクは低減します。

CASE
4

セキュリティが強固なバックアップサーバーを検討している

現在さまざまなバックアップのサーバー等がありますが、クラウドサーバーだと、データが結局どこに保管してあるかわからない、また無料や安いサーバーも星の数ほどありますが、漏えい事件が絶えません。プライバシーマークやISO27001、ISO27017（クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の 実践の規範）等の基準の管理体制のサーバー選定は難しく、セキュリティの強化なサーバー費用はそれなりに高くなります。

エスケイワードのBCP構築のご提案



STEP 1 方針・体制構築/現状分析 (推進チーム構築 業務ヒアリング)

STEP 2 改善策検討 (情報資産洗い出し支援)

STEP 3 文書構築 (マニュアル 防災ハンドブック 作成支援)

STEP 4 事業継続訓練実施 (全社員向け BCP訓練実施)

STEP 5 マネジメント・レビュー会議 (経営層による見直し)

BCP 構築コース プラン

ステップ1：方針・体制構築/現状分析

回 ※1	支援内容	カリキュラム
訪問1 (5時間)	キックオフミーティング ・BCP 基礎内容レクチャー ・業務ヒアリング	① (60分) BCP 基礎内容レクチャー ② (30分) 推進チーム構築 (組織図、緊急連絡網説明) ③ (200分) 業務ヒアリング

ステップ2：改善策検討

訪問2 (5時間)	情報資産洗い出し支援 ・BCP初動対応レクチャー ・重要資産現状調査	① (60分) BCP初動対応レクチャー (初動対応様式説明) ② (50分) 職場診断、環境調査 ③ (200分) 重要資産ヒアリング
--------------	--	--

ステップ3：文書構築

訪問3 (5時間)	リスク分析・対策検討支援 ・BCP発動対応 レクチャー ・データバックアップルール策定	① (60分) BCP発動対応 レクチャー ② (50分) データバックアップ調査ヒアリング ③ (200分) リスク分析・評価
訪問4 (5時間)	規程・様式作成支援 ・BCP運用方法レクチャー	① (60分) BCP運用方法レクチャー ② (50分) 防災ハンドブック 読み合わせ ③ (200分) マニュアル読み合わせ

ステップ4：運用

訪問5 (6時間)	事業継続訓練実施 ・全社員向け BCP対応レクチャー ・全社員向け BCP訓練	① (60分) 全社員向け BCP対応レクチャー ② (200分) 全社員向け BCP訓練 ③ (60分) 推進メンバ 情報システム向け訓練 ④ (30分) 訓練結果報告
--------------	---	--

ステップ5：運用開始

訪問6 (5時間)	マネジメント・レビュー会議 (経営層による見直し)	① (60分) BCP 訓練結果報告 ② (50分) マネジメント・レビュー会議 ③ (200分) 規定、マニュアル最終確認
--------------	------------------------------	--

	※2 運用支援打ち合わせ	※2 運用支援打ち合わせ
--	--------------	--------------

1

安心のISO27001認定業者 ～安心のバックアップ体制～ まずは、お気軽に お問い合わせください。

当社は、マネジメントシステム評価センターの厳正なる審査により
国際認証規格「ISO27001 (ISMS)情報セキュリティ」の
取扱業者に認定されております。
同認証は下記の要件を満たした業者で、エスケイワード を含む愛知県では190社です。

(2017年2月時点)

また、最新規格のISO27001：2013/JISQ27001：2014年版
の移行審査を終え中部圏ではいち早く審査を終了いたしました。



2

ISO27001/ISMS情報セキュリティマネジメントシステムとは？

ISO27001 /ISMSとは、個別の技術対策の他に、マネジメントとして組織自らのリスクアセスメントを行い、必要なセキュリティレベルを決め、プランを持ち、資源配分を行い、システムを運用する、国際的に整合性のとれた情報セキュリティマネジメントに対する第三者適合性評価制度です。

※2017年2月時点で 国内で、5,024 組織が認定されています。

株式会社エスケイワード コンサルティング事業部 サービス・メニュー

- ①ISMS/ISO27001 ・ プライバシーマーク認定取得支援サービス
- ②IT-BCP (事業継続計画) 診断 ・ 構築支援サービス
- ③プライバシー保護 ・ 情報セキュリティ体制 「1日診断サービス」
- ④「スポット」コンサルティングサービス (更新支援、IT診断等)
- ⑤内部監査・教育研修サービス (定期教育、定期診断)
- ⑥ 各種セミナー ・ 情報セキュリティ勉強会 (開催/講師)

本社 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉一丁目21番27号
泉ファーストスクエア9階
TEL.052-953-7161 (代表) FAX 052-953-7163
東京オフィス 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-7-1 霞が関東急ビル303
TEL. 03-6811-2305

<http://www.sk-con.jp/>

担当 土本 (ツチモト) tsuchimoto@sky-inet.ne.jp